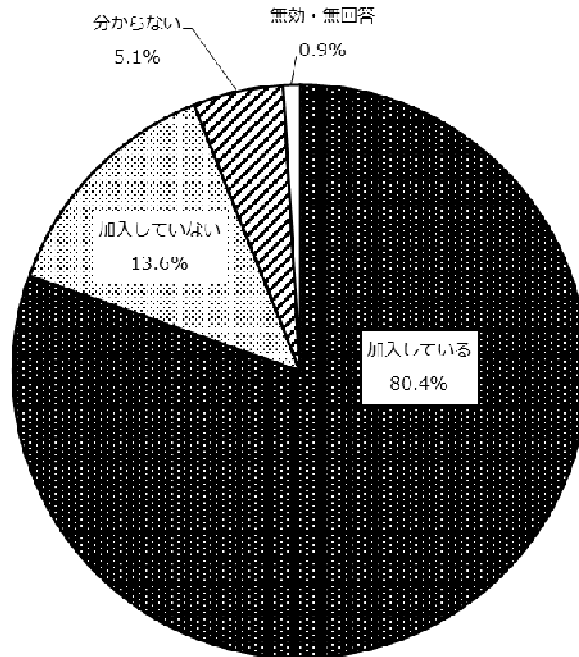


2. 地域生活について

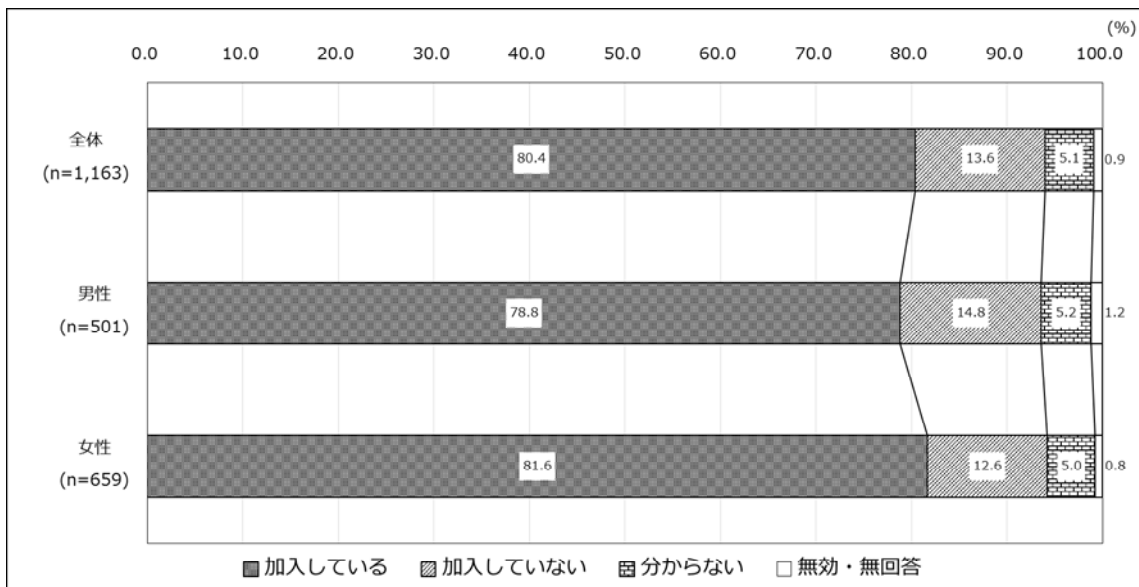
問9 町内会・自治会に加入していますか。【〇は1つ】

約80%の人が町内会・自治会に加入しています。

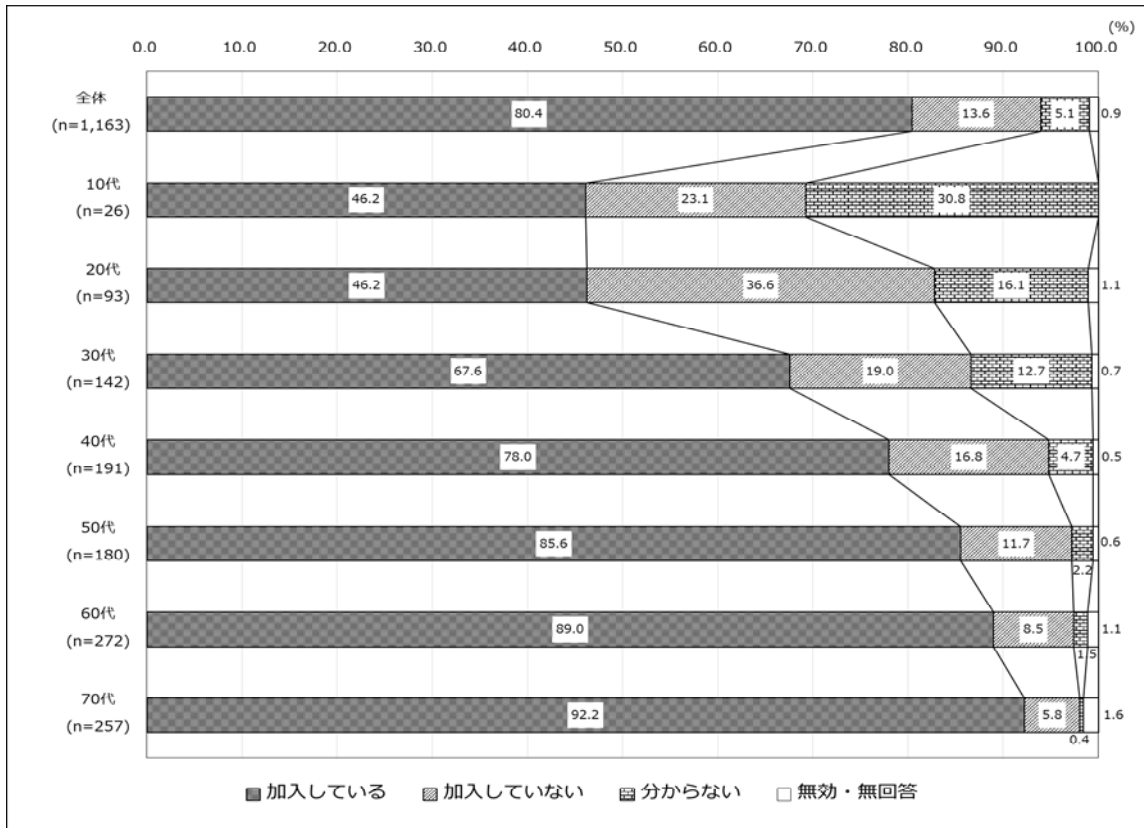


n = 1,163

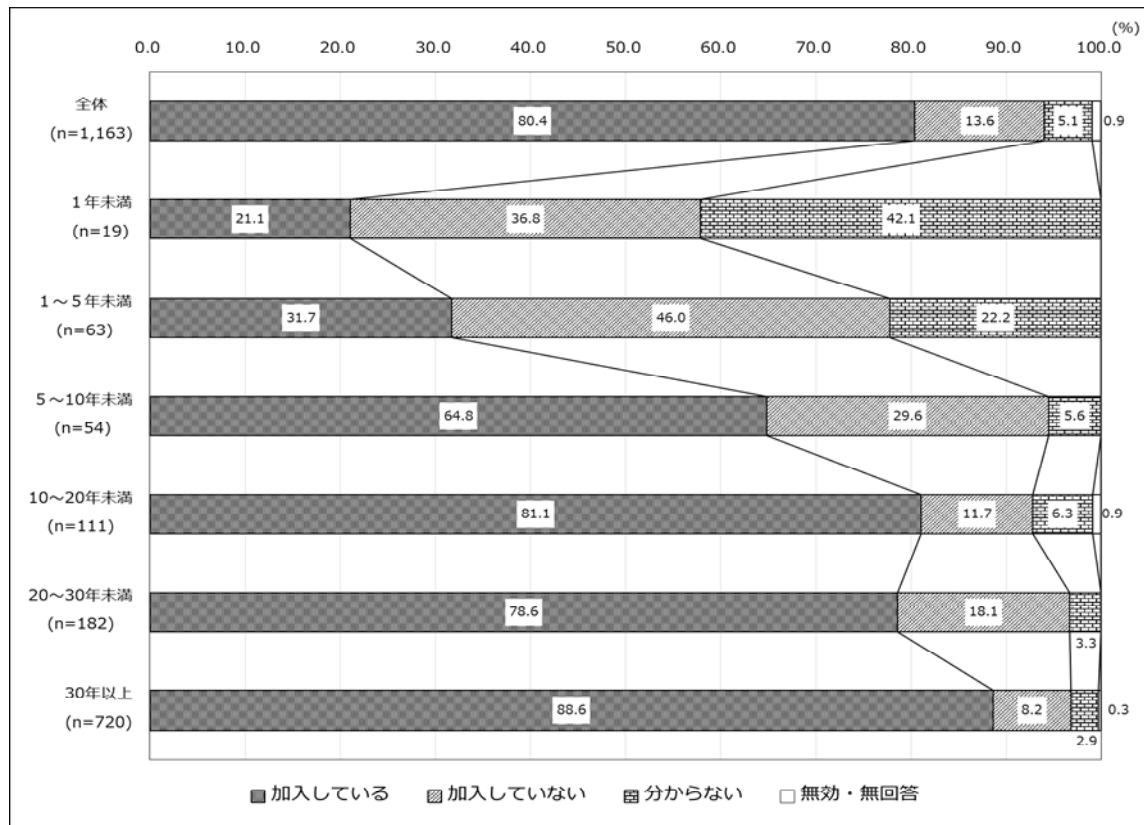
【男女別比較】



【年代別比較】



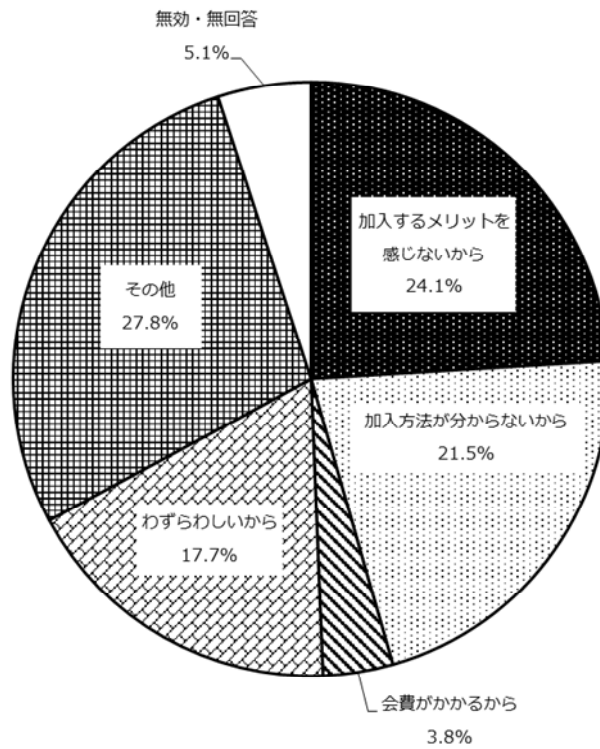
【居住年数別比較】



問 10 (問9で「加入していない」と回答した人のみ)

町内会・自治会に加入していないのはなぜですか。【〇は1つ】

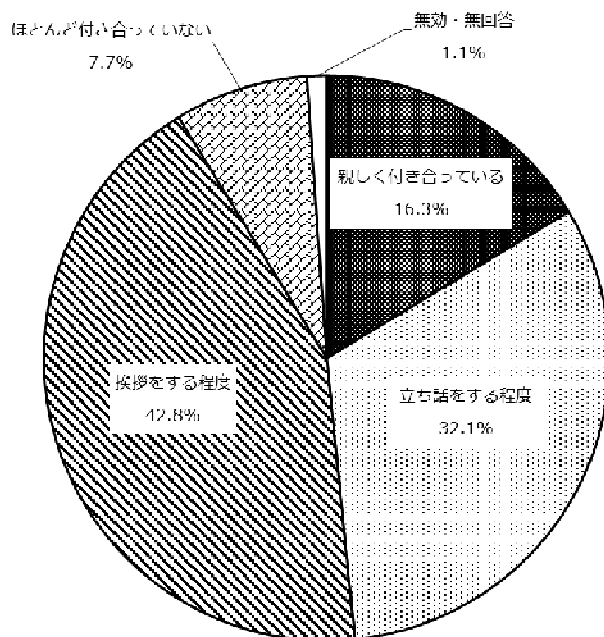
- 「加入するメリットを感じないから」が24.1%と最も多く、次いで「加入方法が分からないから」(21.5%)、「わずらわしいから」(17.7%)という回答がありました。
- 「その他」の主な回答は「存在を知らない」や「忙しい」、「マンションの方針」などがありました。



n = 158

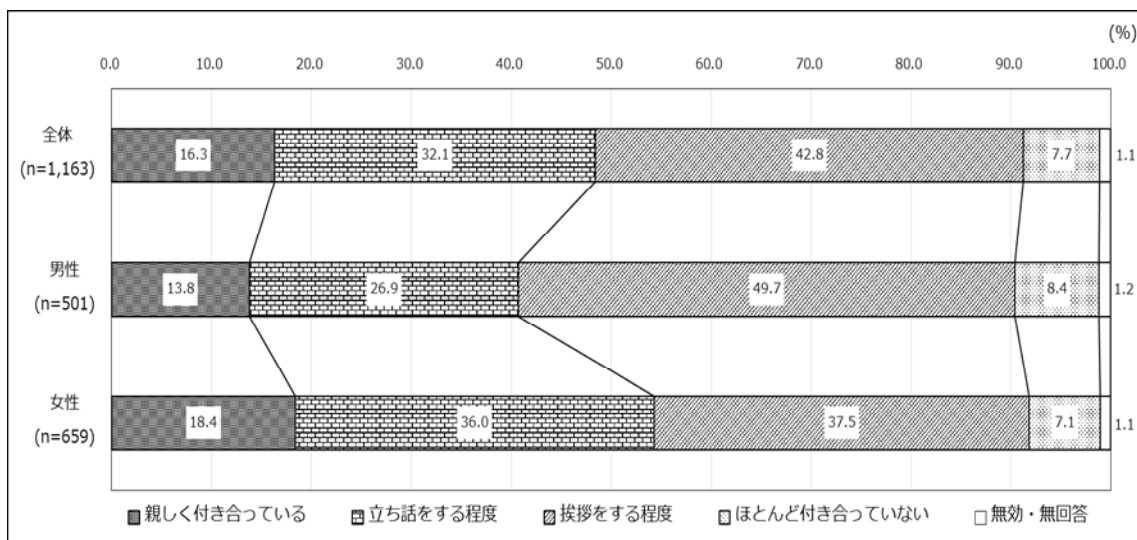
問 11 あなたはどの程度、近所付き合いをしていますか。【〇は1つ】

- ・「立ち話をする程度」(32.1%)、「挨拶をする程度」(42.8%) を合わせると、約 75%を占めています。
- ・「親しく付き合っている」という回答は 16.3%でした。

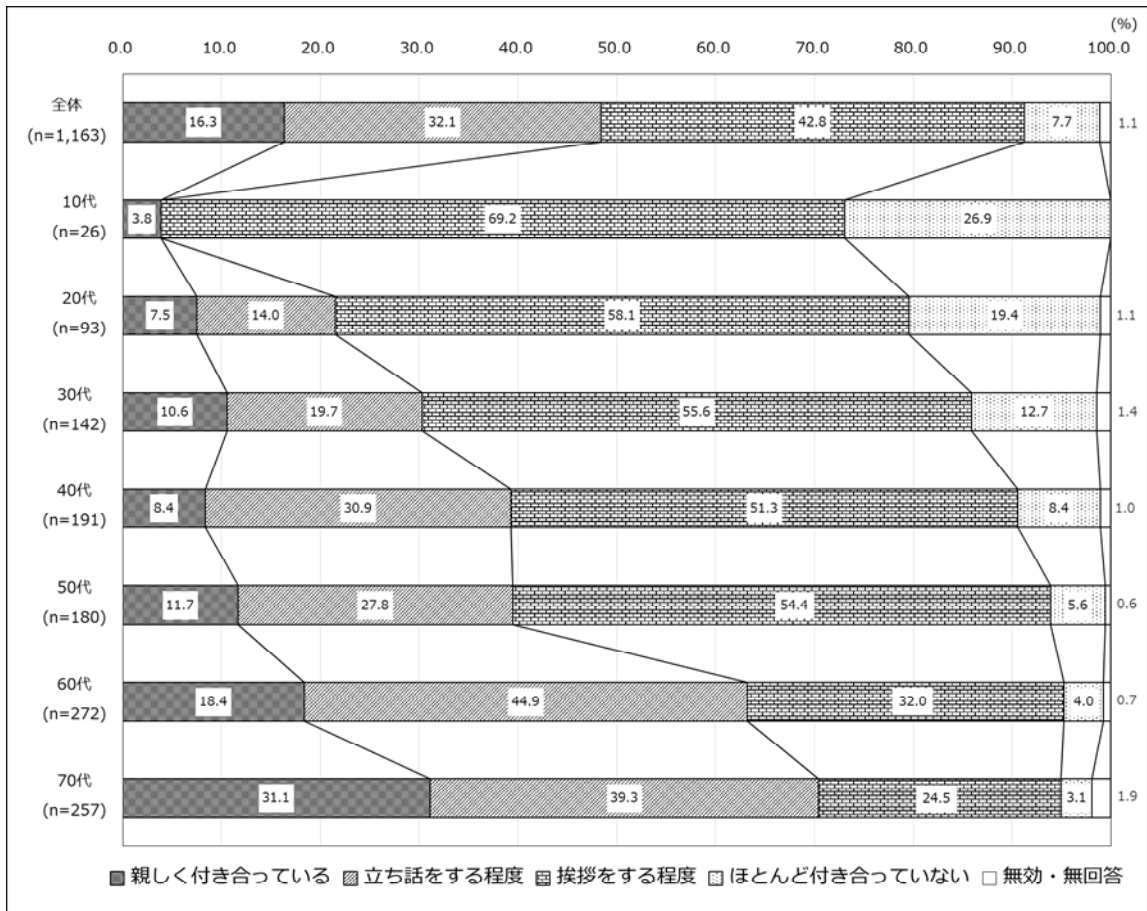


n = 1,163

【男女別比較】

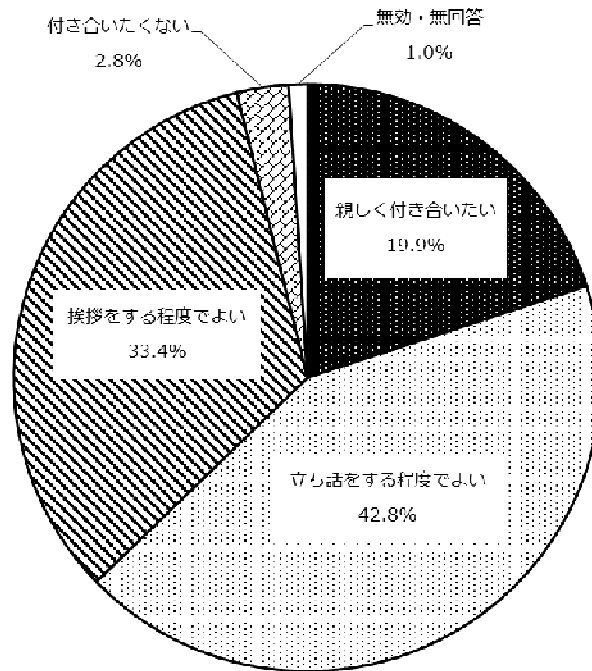


【年代別比較】



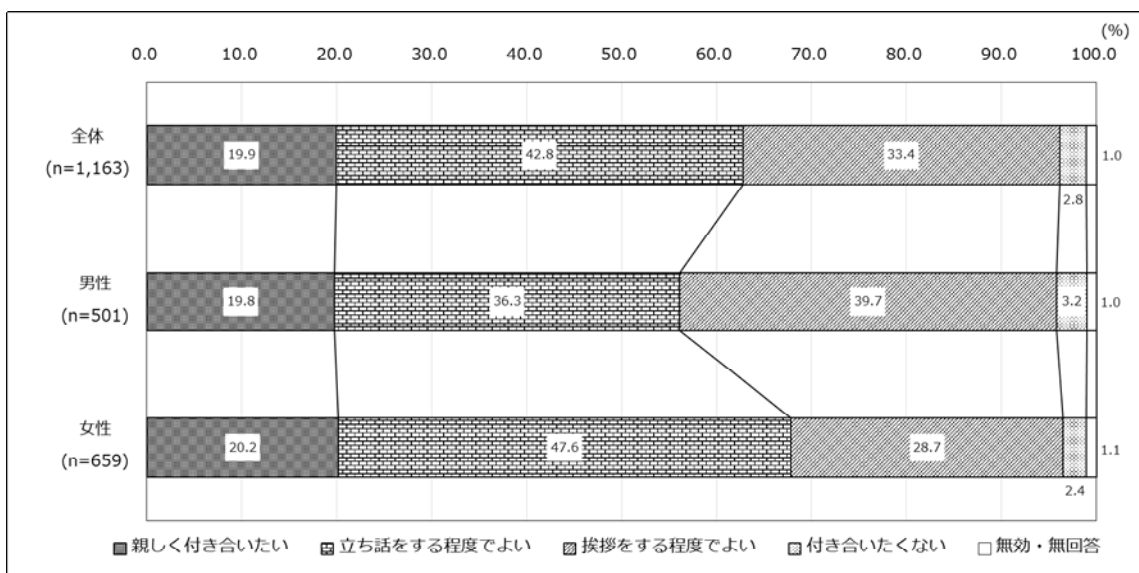
問 12 あなたは今後、どの程度、近所付き合いをしたいと思いますか。【〇は1つ】

- 「立ち話をする程度でよい」(42.8%)、「挨拶をする程度でよい」(33.4%)を合わせると、約76%を占めています。
- 「親しく付き合いたい」という回答は19.9%でした。

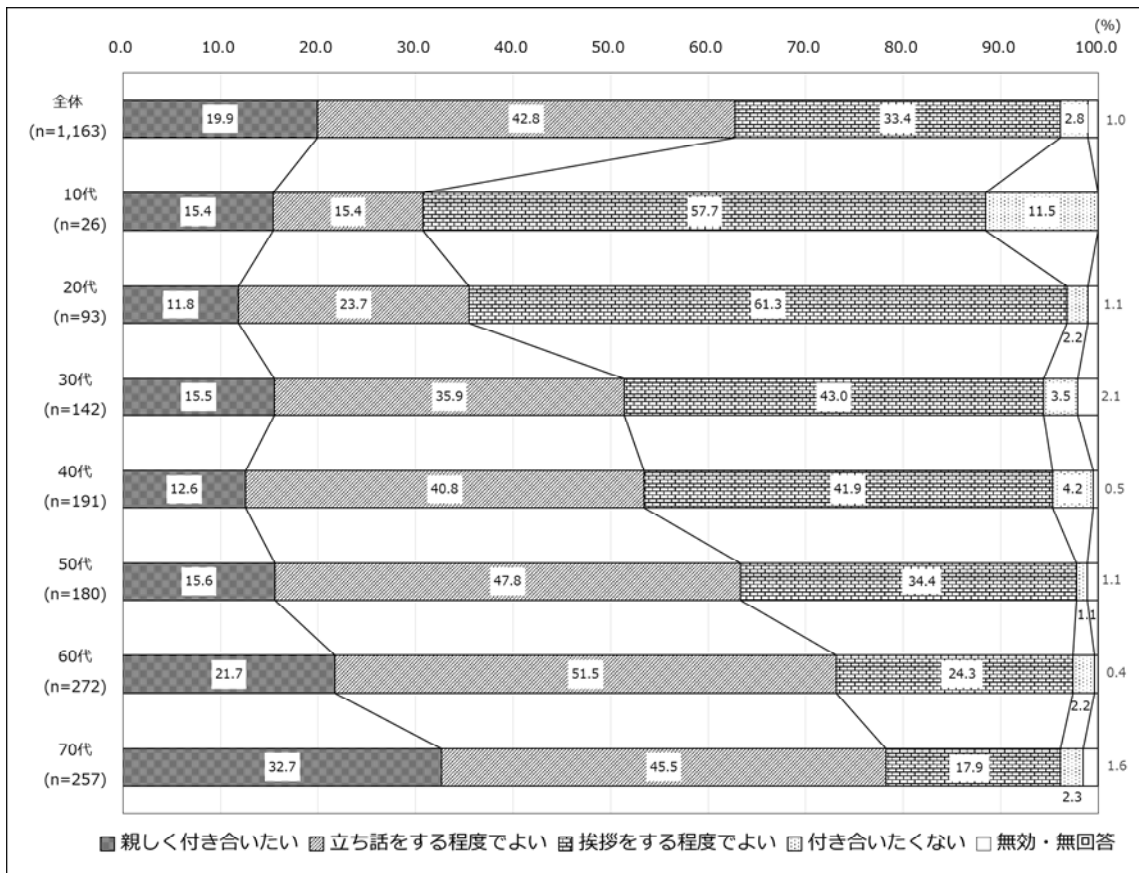


n = 1,163

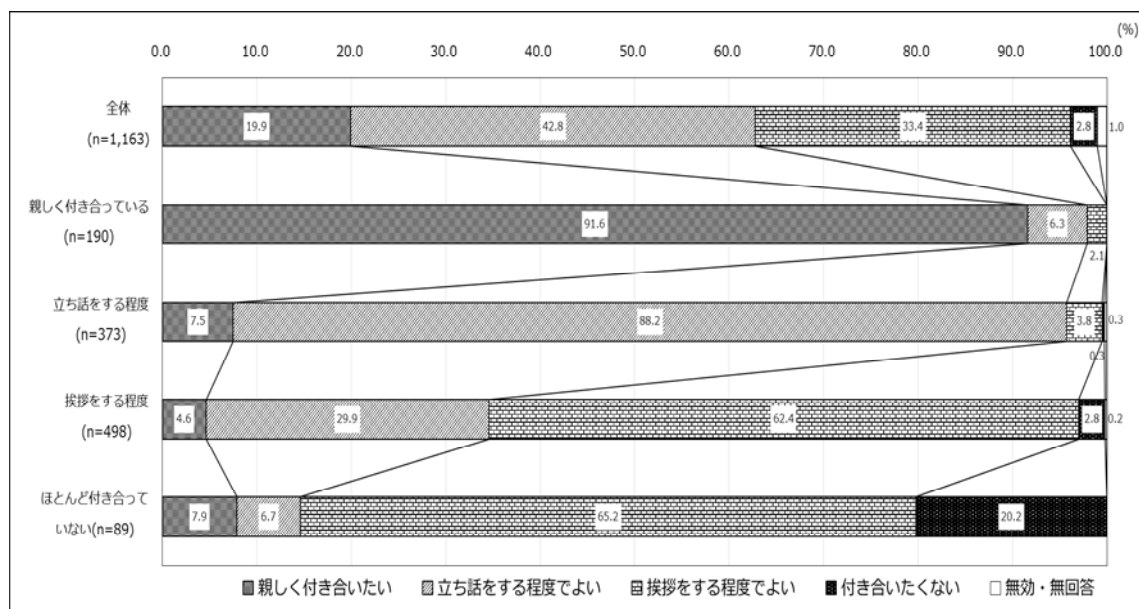
【男女別比較】



【年代別比較】

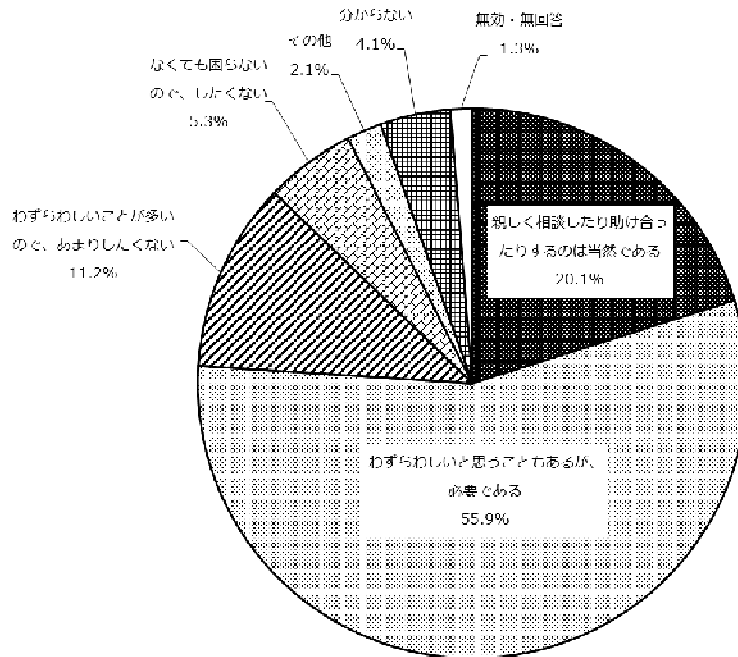


【問 11（現在の近所付き合い）別比較】



問 13 あなたの近所付き合いに対する考え方は次のうちどれですか。【〇は1つ】

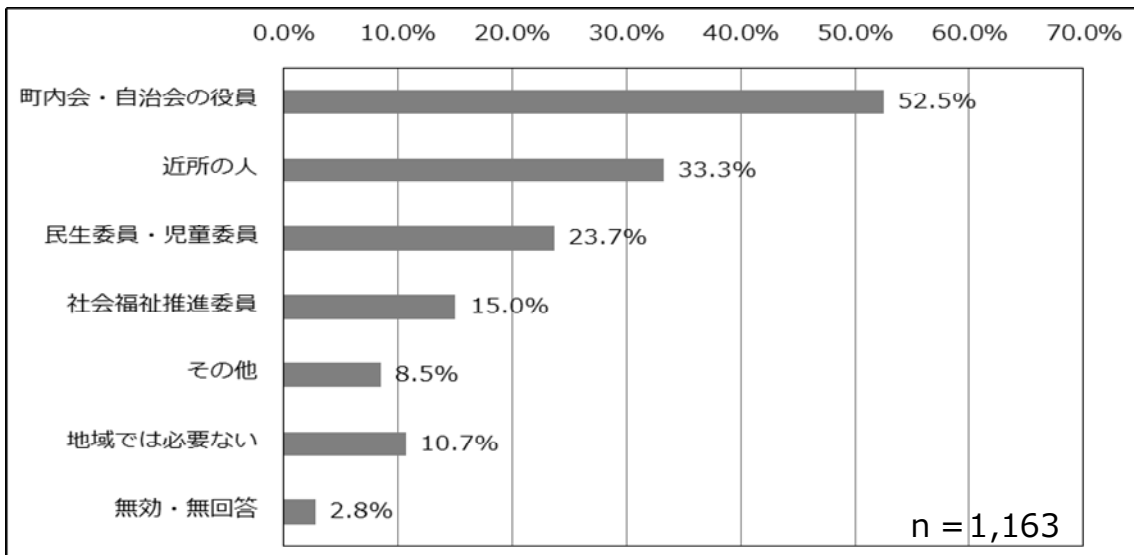
「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」(20.1%)、「わずらわしいと思うこともあるが、必要である」(55.9%)を合わせると、約76%を占めています。



n = 1,163

問 14 災害などの緊急時に必要な情報（親族への連絡先等）を地域では誰が把握しているのがよいと思いますか。【あてはまるものすべてに〇】

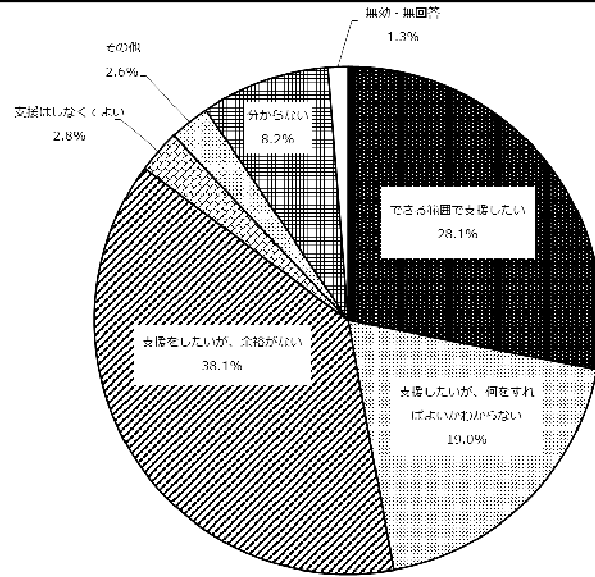
- ・「町内会・自治会の役員」が52.5%と最も多く、次いで「近所の人」(33.3%)となっています。
- ・「その他」の回答では「友人」、「警察」、「マンションの管理組合」などがありました。



n = 1,163

問 15 近所に住む「ひとり暮らしの高齢者」、「寝たきりの高齢者や障害のある人がいる家族」、「子育てをしている家族」などに対する支援（日常生活上のお手伝いなど）について、あなたの考えに近いものをお選びください。【〇は1つ】

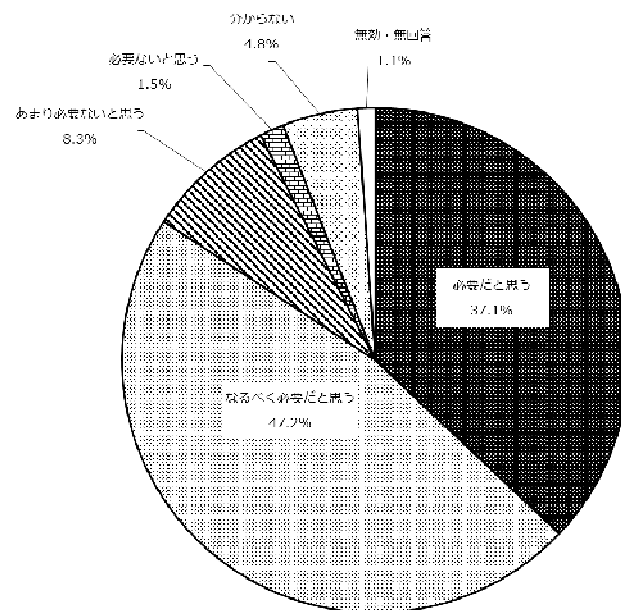
「支援をしたいが、余裕がない」が最も多く、38.1%でした。
 「できる範囲で支援したい」(28.1%)、「支援したいが、何をすればよいかわからない」(19.0%)と合わせると、約85%の人が支援をしたいという意向を示しています。



n = 1,163

問 16 安心して快適に暮らせる地域社会を実現するために、近隣住民同士の支え合いが必要だと思いますか。【〇は1つ】

「必要だと思う」(37.1%)、「なるべく必要だと思う」(47.2%)を合わせると約84%を占めています。

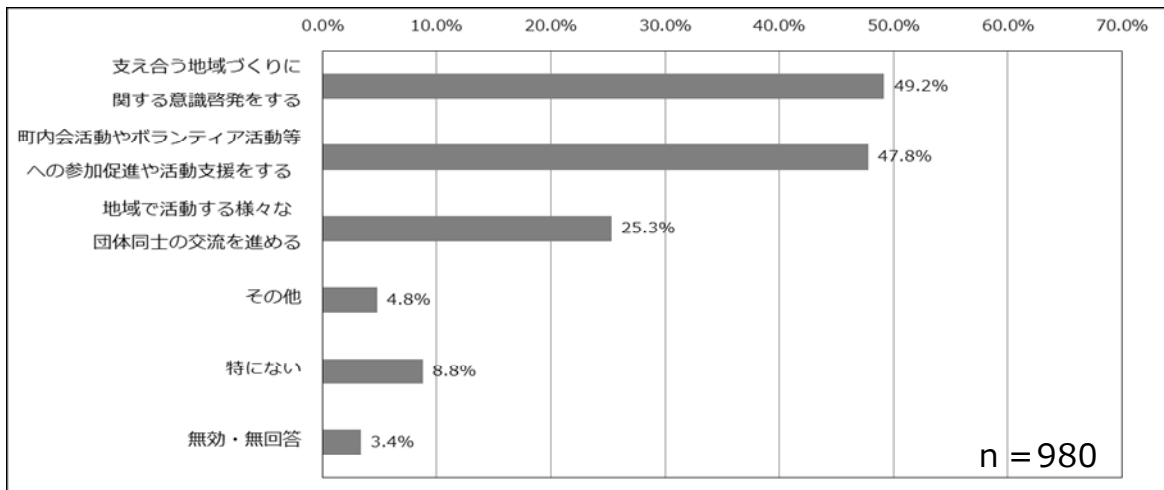


n = 1,163

問 17 (問 16で「必要だと思う」、「なるべく必要だと思う」のいずれかの回答をした人のみ)

近隣住民同士がともに支え合う地域づくりのために、横須賀市としてはどのような支援を行う必要があると思いますか。【あてはまるものすべてに〇】

「支え合う地域づくりに関する意識啓発をする」が49.2%で最も多く、次いで「地域活動等への参加促進や活動支援をする」(47.8%)、「活動団体同士の交流を進める」(25.3%)となっています。

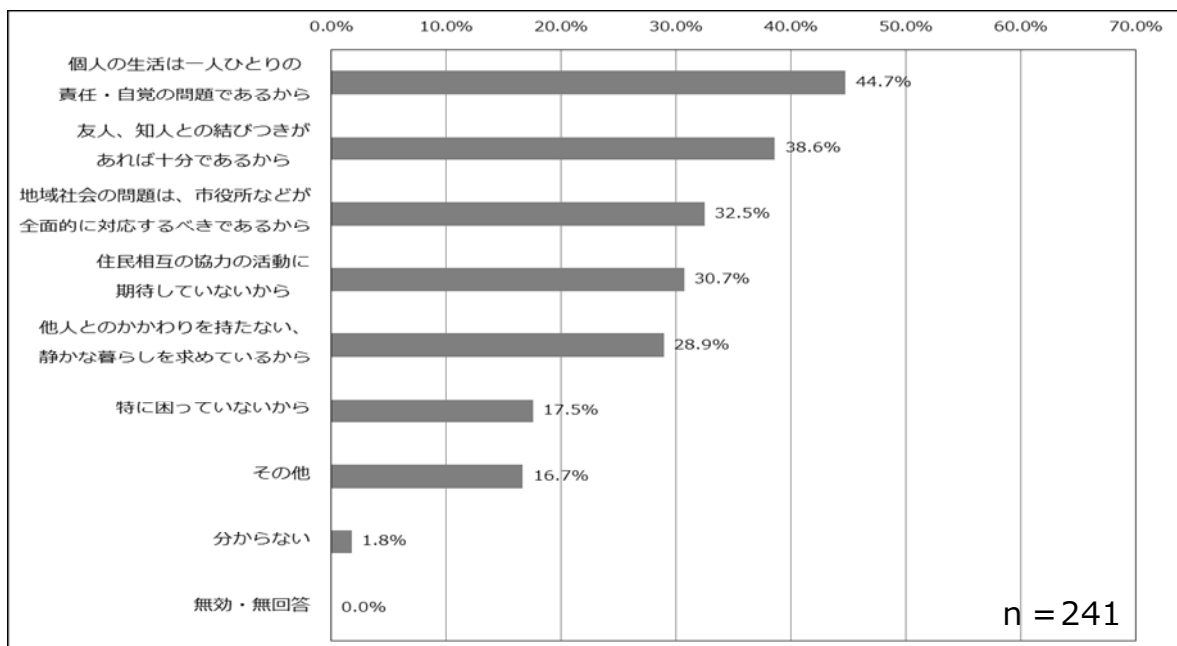


問 18 (問 16で「あまり必要ないと思う」、「必要ないと思う」のいずれかの回答をした人のみ)

近隣住民同士の支え合いが必要ないと思う理由はなんですか。

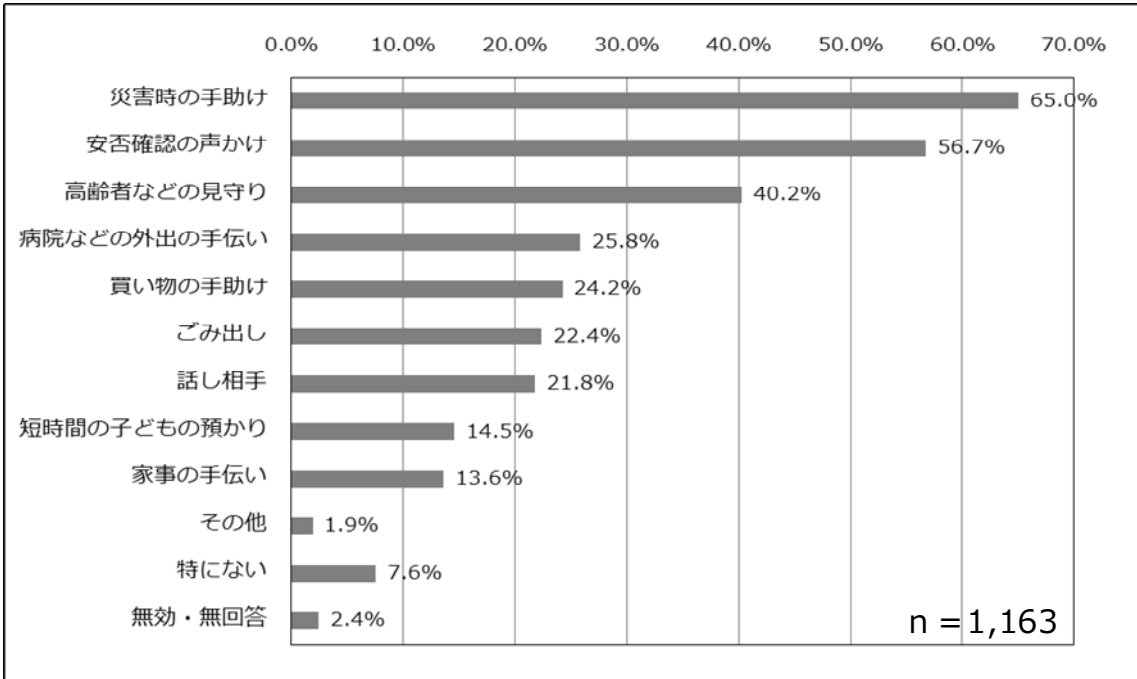
【あてはまるものすべてに〇】

「個人の生活は一人ひとりの責任・自覚の問題であるから」が44.7%で最も多く、次いで「友人、知人との結びつきがあれば十分であるから」(38.6%)、「地域社会の問題は、市役所などが全面的に対応するべきであるから」(32.5%)となっています。



問 19 あなたやご家族が、高齢や病気、もしくは子育てなどで日常生活が不自由になったとき、地域でどのような手助けをしてほしいと思いますか（公的なサービスを除く）。【あてはまるものすべてに○】

「災害時の手助け」が 65.0%で最も多く、次いで「安否確認の声かけ」(56.7%)、「高齢者などの見守り」(40.2%) となっています。

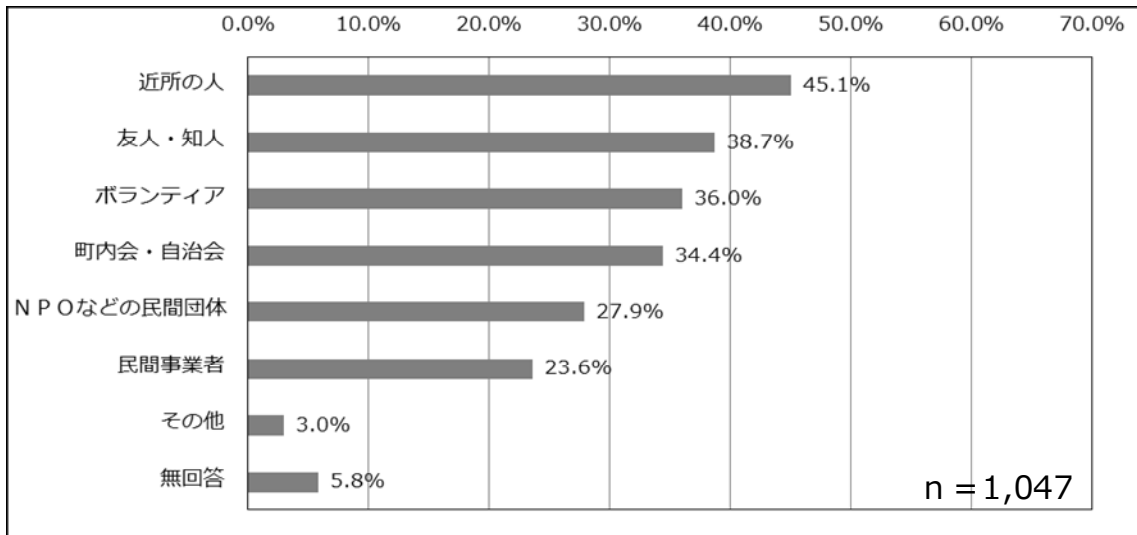


問 20 (問 19 で具体的に回答をした人のみ)

これらの地域の手助けを誰にしてほしいと思いますか。

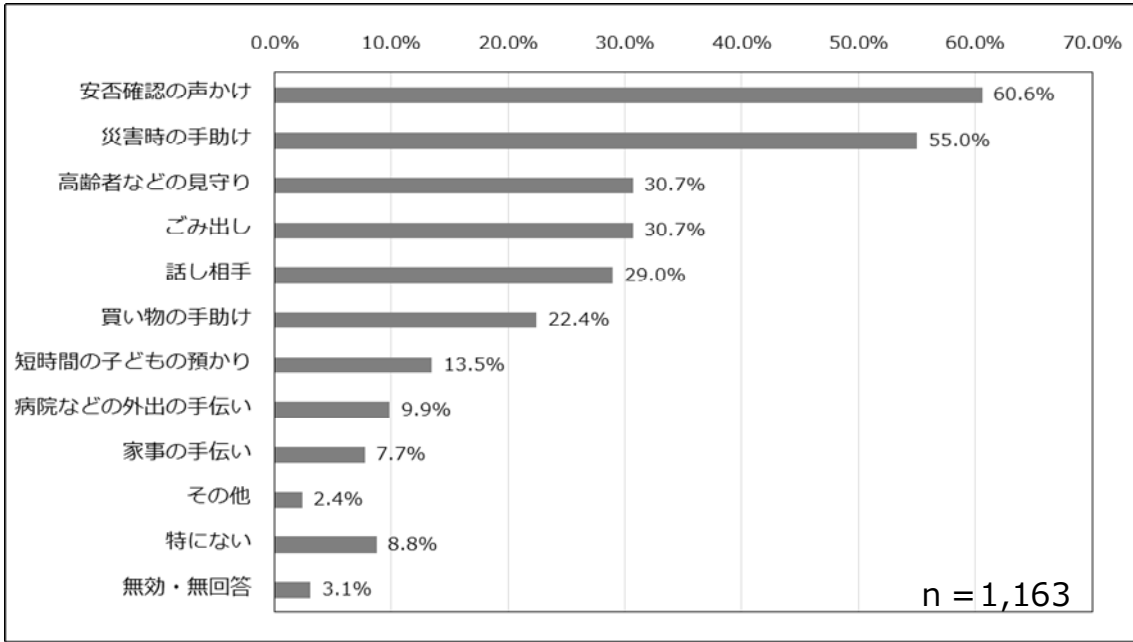
【あてはまるものすべてに○】

「近所の人」が 45.1%で最も多く、次いで「友人・知人」(38.7%)、「ボランティア」(36.0%)、「町内会・自治会」(34.4%) となっています。

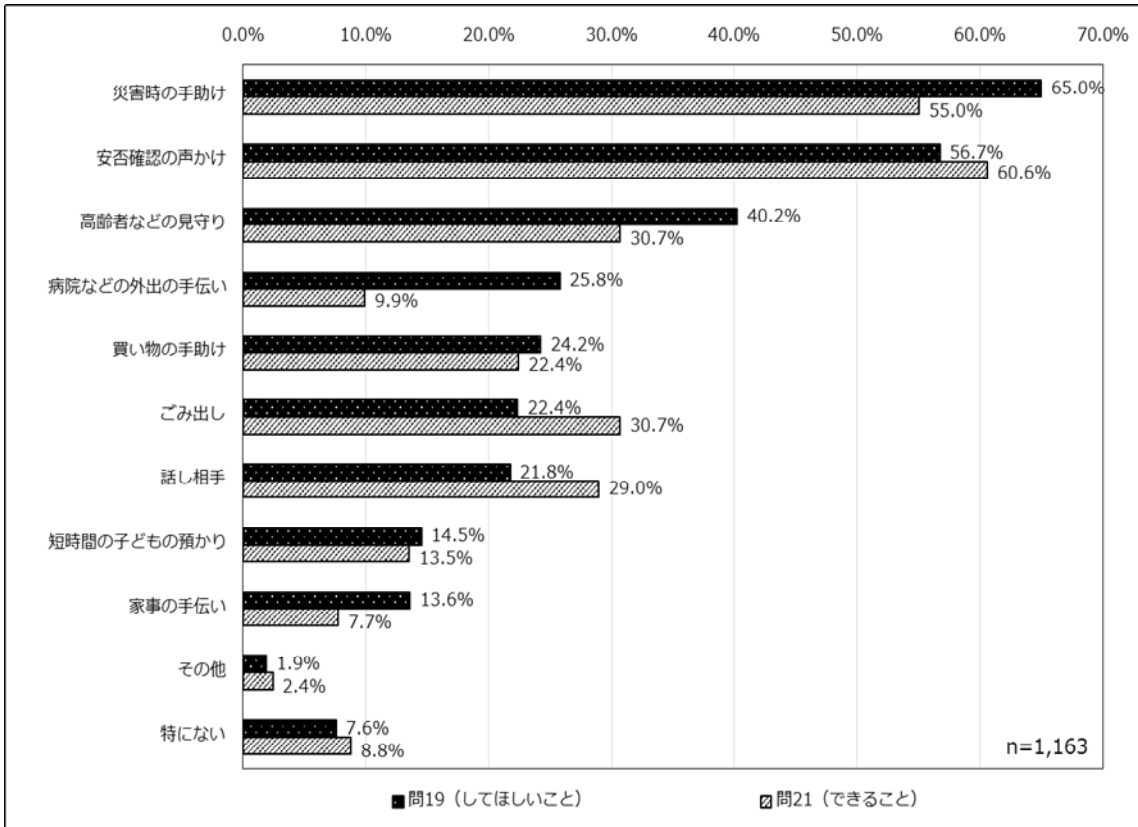


問 21 近隣に高齢者や障害のある人の介助・介護、子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますか。
【あてはまるものすべてに〇】

「安否確認の声かけ」が 60.6%で最も多く、次いで「災害時の手助け」(55.0%)、「高齢者などの見守り」(30.7%)、「ごみ出し」(30.7%) となっています。

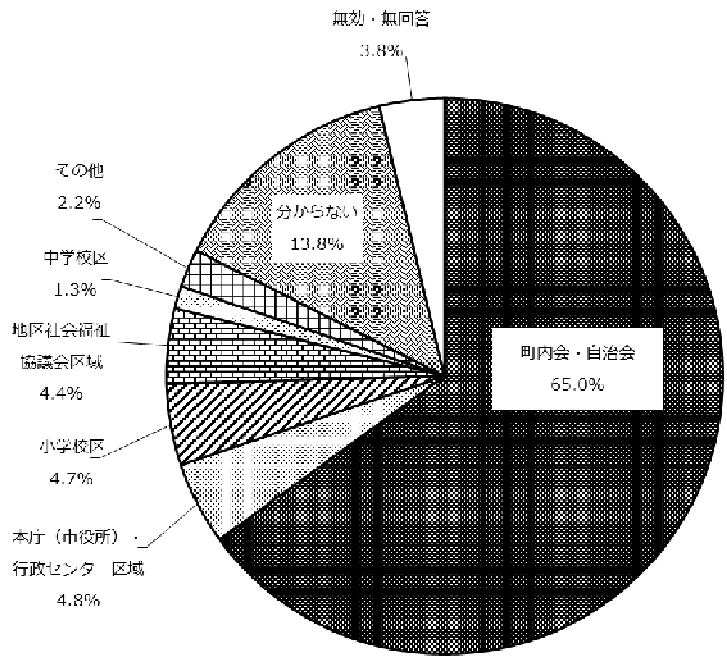


【問 19 (してほしいこと) との比較】



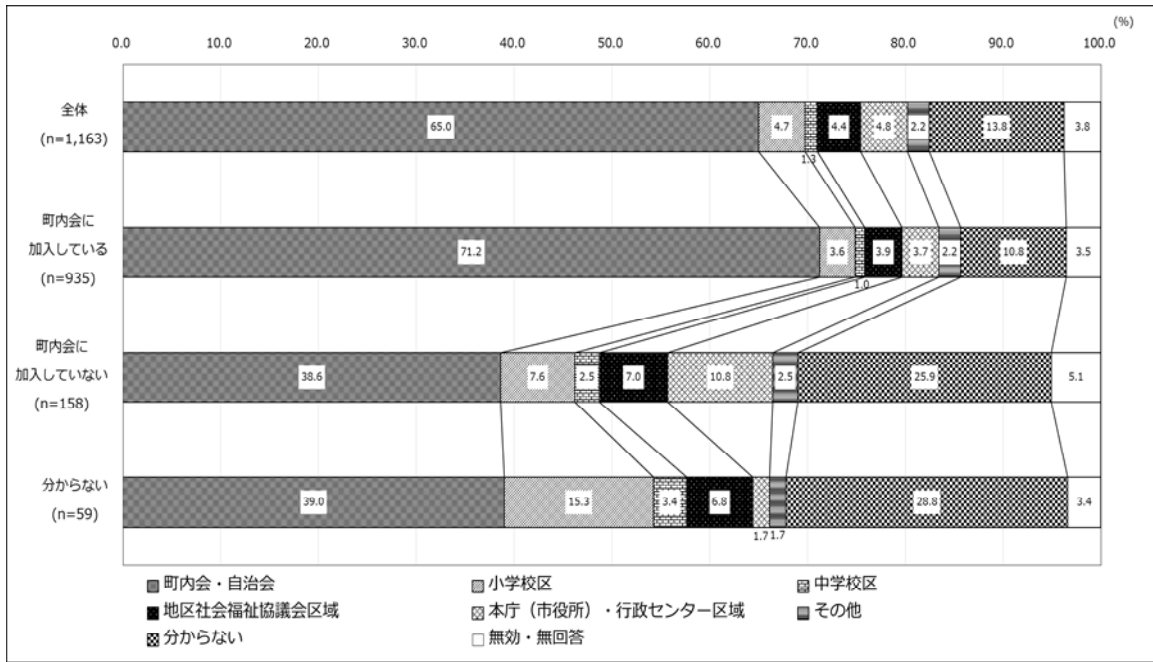
問22 あなたにとって、住民が互いに助け合いをしたら、どの「範囲」が最もよいと思いますか。【〇は1つ】

「町内会・自治会」が最も多く、65.0%を占めます。



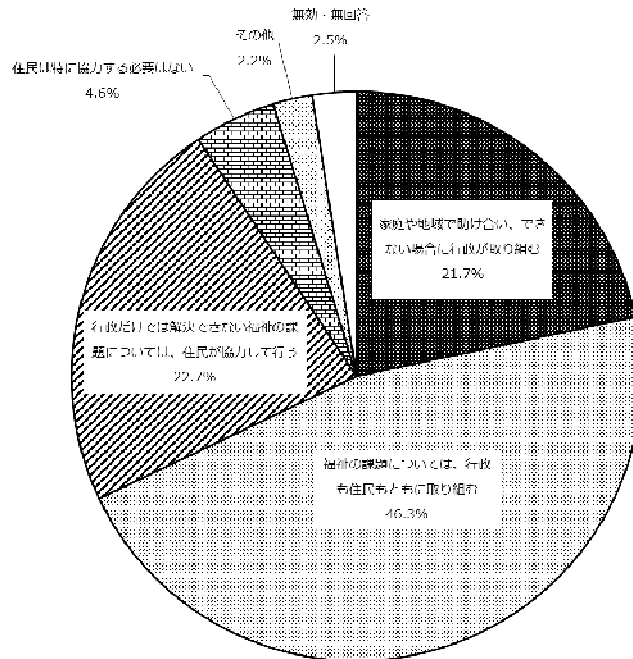
n = 1,163

【問9（町内会加入の有無）別比較】

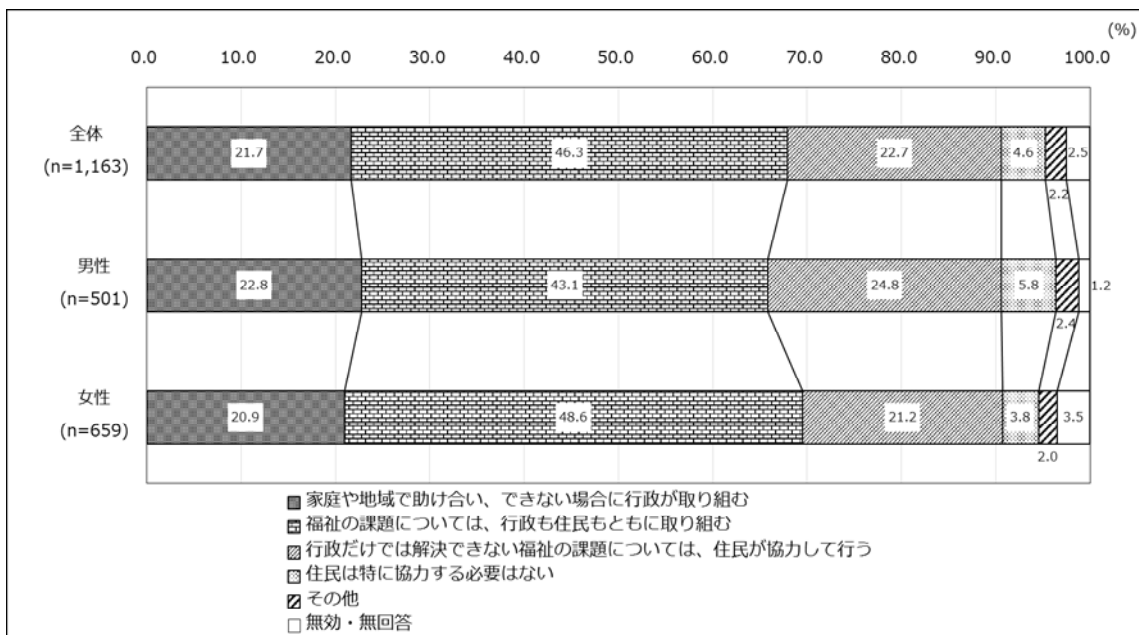


問 23 行政と地域住民との関係について、あなたの考えに最も近いものを教えて下さい。【〇は1つ】

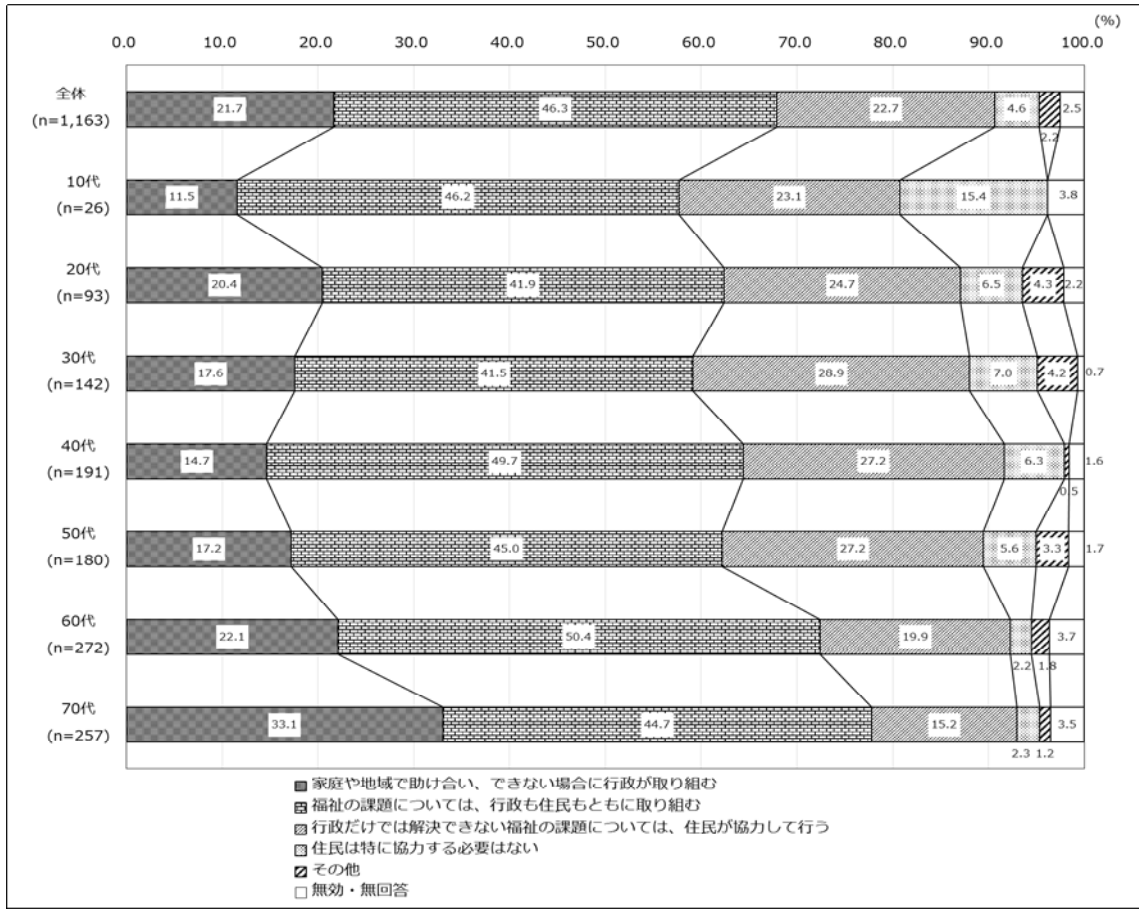
「家庭や地域で助け合い、できない場合に行政が取り組む」(21.7%)、「福祉の課題については、行政も住民もともに取り組む」(46.3%)、「行政だけでは解決できない福祉の課題については、住民が協力して行う」(22.7%)を合わせると約91%の人が行政との協力について肯定的な回答となっています。



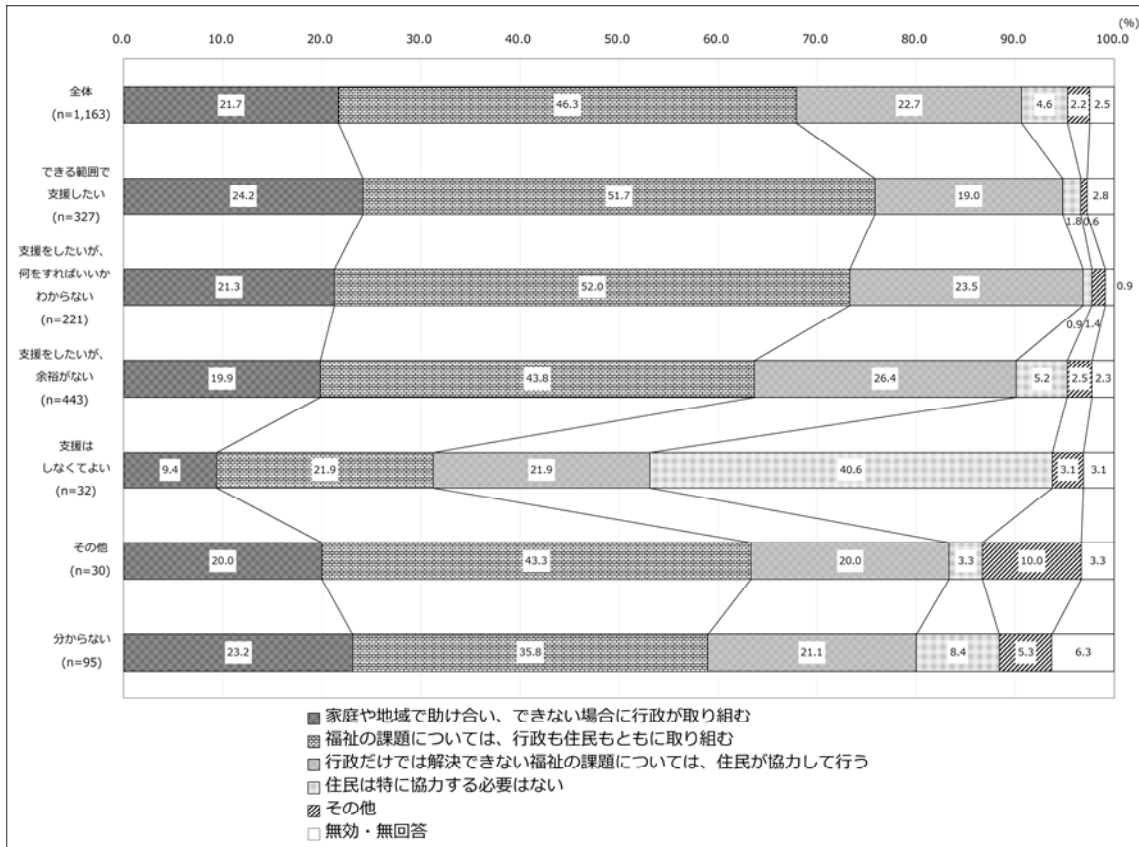
【男女別比較】



【年代別比較】

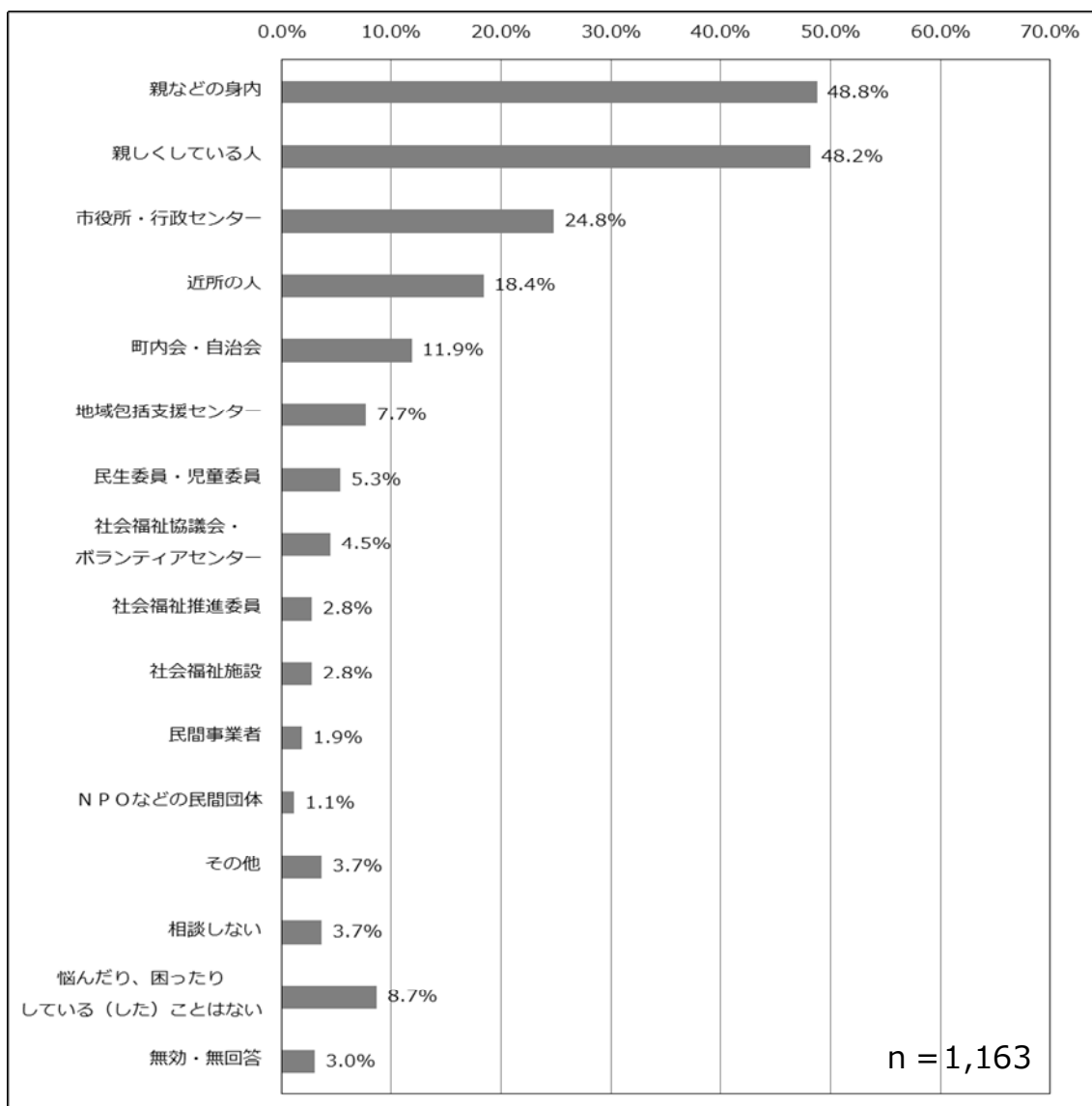


【問 15（支援に対する考え方）別比較】

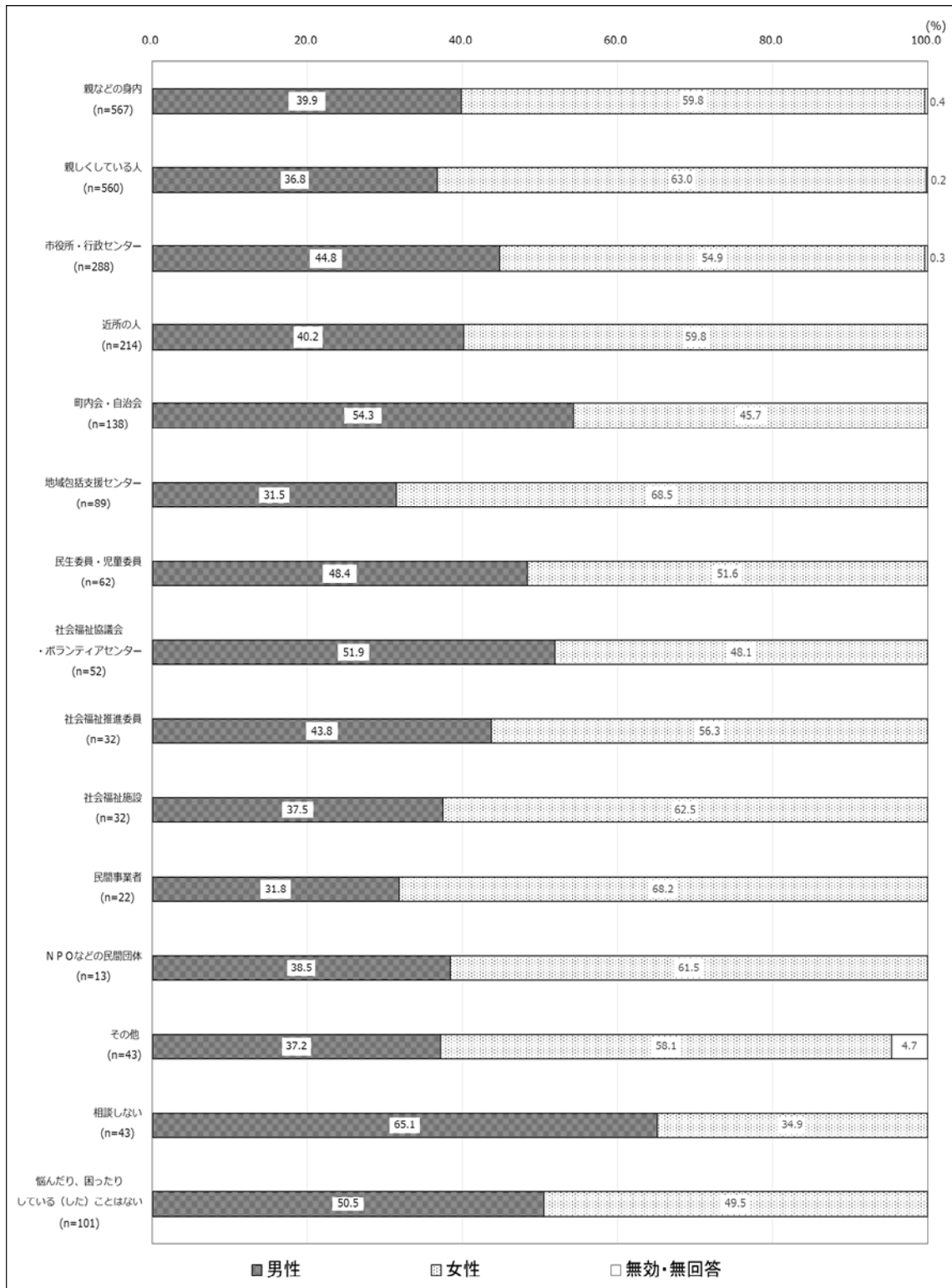


問 24 普段、地域生活の中で悩んだり、困ったりした時は、どこに相談しますか、あるいは、どこに相談しましたか。【あてはまるものすべてに○】

- 約半数の人が「親などの身内」(48.8%)、「親しくしている人」(48.2%)と回答しています。
- 次いで、「市役所・行政センター」(24.8%)、「近所の人」(18.4%)となっています。



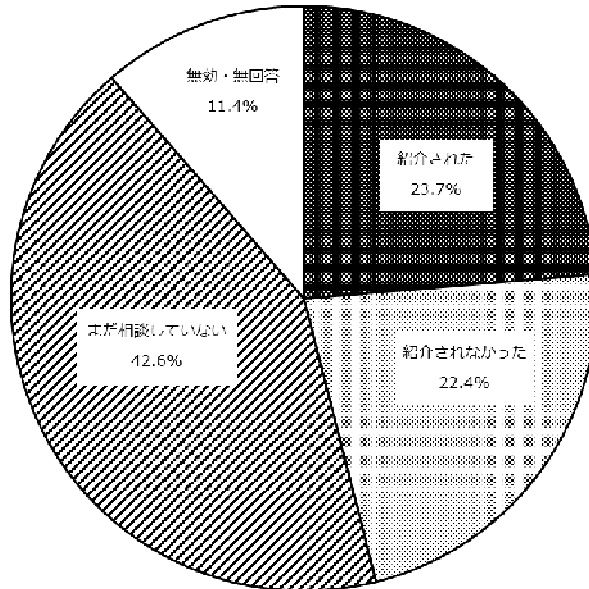
【男女別比較】



問 25 (問 24 で具体的な回答をした人のみ)

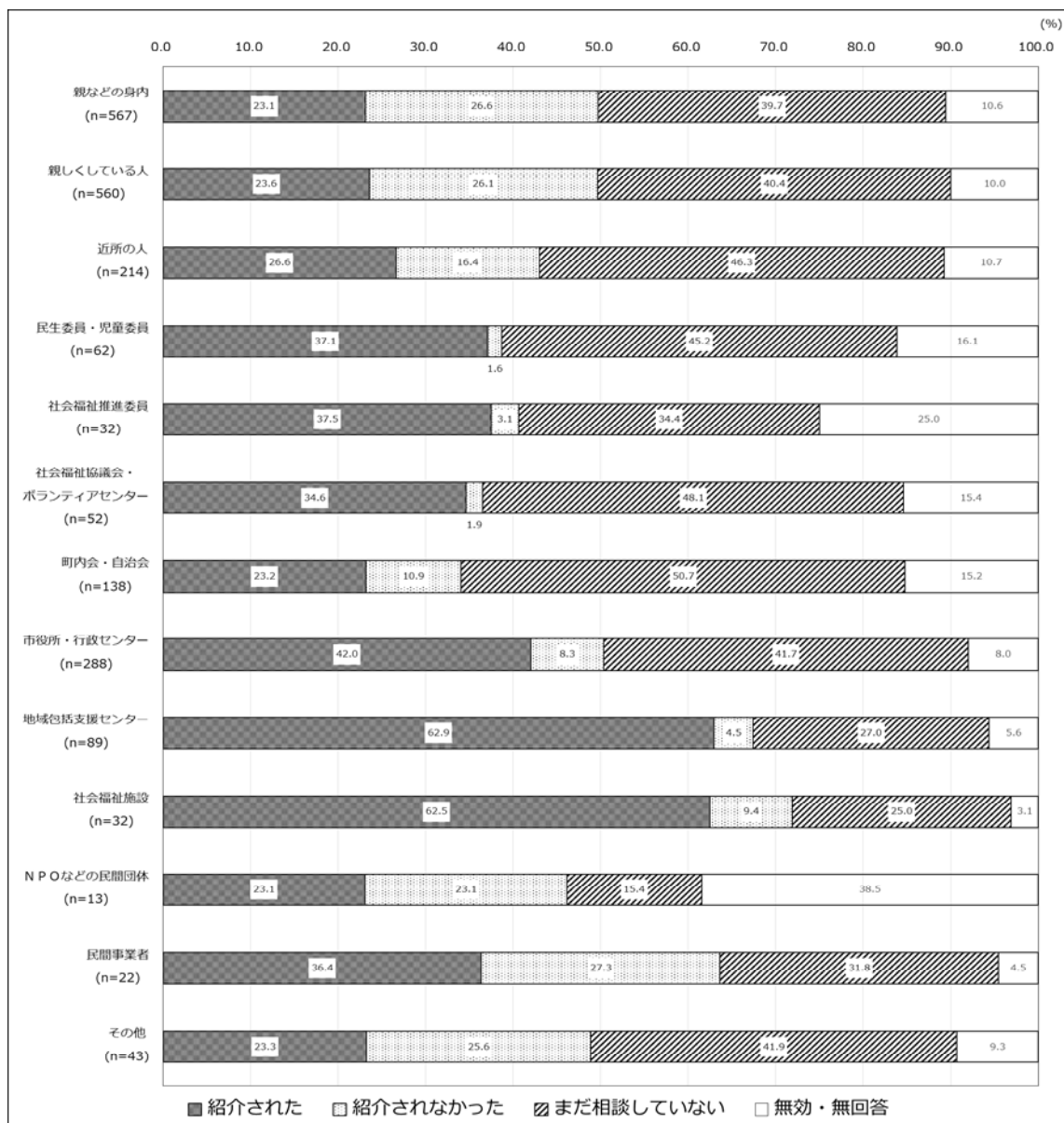
相談した人・所から「その悩みはここに相談した方が良い」と問題解決に適切な窓口を紹介されましたか。【〇は1つ】

・「まだ相談していない」が42.6%で最も多く、「紹介された」(23.7%)と「紹介されなかった」(22.4%)は、ほぼ同数となっています。



n = 984

【問 24（相談先）別比較】



問 26 (問 24 で「相談しない」と回答した人のみ)

あなたが抱えている悩みをどう解決しますか（しましたか）。

具体的に記入してください。（自由記入）

【主な回答】

- ・自分自身で判断し解決した。他人には相談しない。
- ・インターネット等で検索した。
- ・誰に相談していいのかわからない。
- ・今は2人で生活しているので悩みはないが、1人になった時が心配。